

## 吉増剛造氏講演会

「声と光りのウラ／無差別の差異への眼差し」

比較文化学類及び現代語・現代文化専攻 吉野修

- 1 趣旨・目的： 詩と写真などの領域で、表現の先端を体現している吉増剛造氏の講演を通して、現代における表現のあり方と「貴賤なき」共同空間との関連について考察する。
  - 2 日 時：平成21年2月10日 15：15～16：30
  - 3 場 所：総合交流会館マルチメディアルーム
  - 4 対 象：学内者・学外者を問わない
  - 5 実施概要： 吉増氏の表現活動は、詩作にとどまらず、朗読や様々なアーティストとのパフォーマンス・コラボレーションから、写真と詩的空間の接近の試みへも展開し、さらにはビデオ作品の制作へと、たえず表現の場を移動している軌跡である。  
このような諸々の表現ジャンルの交点には必ず現れる総合芸術的意味における作家主義的権力集中や、その反動のような独我論的佇まいは仮のものでしかあり得ず、他者に向けて暴露されつつ他者に媒介されていなければ成立不可能な表現領域が存在する。  
重要なのは他者の媒介とズレに開かれている事である。吉増氏の表現活動においては、このようなズレが他者との共同性の可能性と不可能性として刻印されている。  
以上のような問題系を抽象的にではなく、表現の現場において捉える切実な機会として講演会を計画する。  
実施内容を簡単に記せば、詩の朗読、写真の投写、参加者との対話、という形式です。
- 6 参 考 :